

当事業所（アクティブキッズ）を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただきました。ご回答いただきまことにありがとうございました。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入いただきました。

	チェック項目	1・はい	2・どちらともいえない	3・いいえ	4・わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90.9	9.1	0.0	0.0	「4と同様です」「体を動かす遊びの際は少し狭く感じることもあります」「同じ時間の利用状況を把握し場所を変えるなどしていただいていると思います」
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0	0.0	0.0	0.0	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか、また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	87.9	9.1	0.0	3.0	「本棚の見える収納、ブランコなどの遊具が目に入るところもあり子どもも仕切りごとに気分を変えて取り組んでいると思います」「絵本やおもちゃ等、いつも同じ場所に置いてあるので、見たい本があると迷うことなく持ってくるので、わかりやすい配置になっていると思います」
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	97.0	0.0	3.0	0.0	「活動スペースとしては十分だと思いますが、個別（その子の特性）では？特に注意力散漫な子へn学習としては配慮がないと思います。」「掃除も行き届いており感謝です。板床の部分が滑りやすいのが少し不安があります」「他の子と被る時もありますが、部屋が広いので、別々に過ごせる空間があってよいと思います」
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	90.9	3.0	0.0	6.1	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	78.8	6.1	0.0	15.2	「ガイドラインを読んだことがないのでよくわかりません」「親が見る子供と第三者や専門医から見る子供の特性が異なるかもしれないので専門医からの意見も取り入れた支援内容にいただけてと親も取り組みが考えられるかもしれません」「中長期的な目的に対し都度意思疎通を図ってくださいとでも安心しています」
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93.9	3.0	0.0	3.0	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	93.9	0.0	0.0	6.1	「やりたいこと、順番などいつも話し合っていて決まっています」「遊び以外の取り組みで、本人に目的を持っていること（積み木の色塗り）」
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	54.5	6.1	9.1	30.3	「通園中」
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	87.9	12.1	0.0	0.0	「0才と3才の子供を連れての通所だったので、かいつまんだ説明はうけました」
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	90.9	6.1	0.0	3.0	「同上」
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	0.0	0.0	100.0	0.0	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		「正式な面談などの時間はありませんが、活動の際、現在の様子をお話したり相談させていただいています」「もう少し子供への接し方などを相談したりアドバイスをもらえるといいなと思っています（イメージと違った）」
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		「まだ通い始めたばかりのため、他の保護者の方々にはごあいさつ程度です」「保護者同士の連携の支援は望んでいません」「活用したことがないのでわかりません」「保護者同士の連携はないが、特に必要性を感じていない」
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか		「何か気になる事を相談すると、すぐに答えてくれるのでとても助かっています」「まだお世話になって半年足らずでそこまでの機会がなくわかりません」
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		「子供がいないところで話せる機会があると助かる」
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		「担当の先生からの評価をいただいておりますが、例えば〇ヶ月毎の評価、総合評価等あれば、伸びているのか何が足りないのかわかるのではないのでしょうか？」
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか		
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。		
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		
	22	子どもは通所を楽しみにしているか		「とても楽しみにしています」「毎回早く行こう！！とせがまれます。とても楽しいようです」「よく今日は行く日？と聞いてきます。曜日の概念もついてきたようで一石二鳥だと嬉しく思います」「職員の方が本当に子供にも親にも対応が良くて、子供がなついています」
	23	事業所の支援に満足しているか		「下の子の面倒も見てくれる時があり、とても助かっています。ありがとうございます」

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。